

テーマ	高齢者が抱える生活の困りごとに対して支援を行うための体制構築
-----	--------------------------------

### 1. 解決したい課題の内容について

単身世帯等が増加し、支援を必要とする軽度の高齢者が増加する中、生活支援の必要性が増加。高齢者の生活全般を支援するには、公的サービス以外にも、ボランティア、NPO、民間企業、協同組合等の多様な主体を幅広く活用し、支援していく必要がある。

しかし、高齢者のニーズと支援を行うそれぞれの主体を繋ぐ「生活支援コーディネーター」の役割を担う人がいない。特に、中学校圏域で役割を担う「第2層生活支援コーディネーター」と呼ばれる人材が不足しており、そもそも人材募集と確保のアプローチ手段も確立されていない。また、人材に求める技術がハードルをあげている。

### 2. 実現したい目標について

「人材の先細り」が顕著となっている福祉保健分野において、高齢者が抱える様々な分野の課題に対して、専門家に繋いでいく役割を担える人材を、市内7圏域の中学校区に配備していく。各圏域に配備できなくても、せめて宇佐市の中で1人の配備から増員していきたい。

### 3. 必要とする技術について

配備される人材に求められるスキルをサポートする技術

### 4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

生活支援コーディネーターには①地域性（市内在住の人員）②コミュニケーションスキル③医療・介護保険制度に対して浅く広い理解を求めているが、これら全てまたはいずれかをサポートするツールを開発し、「スキルゼロ知識ゼロ&何歳からでも始められる生活支援コーディネーター」として成立できるかを検証し、コーディネーターとなりえる人材の間口を広げる実証実験。

※上記に拘らず、目的のためならば方法は問わない

### 5. 協力者、実証実験の場所等について

協力者：宇佐市社会福祉協議会「第1層生活支援コーディネーター」

実証実験の場所：市内いずれかの中学校区

### 6. 課題に関連する事業のホームページ URL

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001093798.pdf>

<https://www.sapporo-shakyo.or.jp/files/00012900/00012914/20230516132141.pdf>